

2013年度 第2回理事会議事録

期 日：2014年1月17日（金）16:00～17:30

場 所：公益社団法人日本放射線技術学会 東京事務所会議室

出席者：新津 守，小倉明夫，菊地克彦，熊代正行，土井 司，錦 成郎

川光秀昭（委任），清水 徹（委任），中島康雄（委任），山下康行（委任）

出席6名，委任4名

[報告]

1. 第5回医療安全セミナー（更新講習会）開催報告

（大阪）期 日：2013年11月3日（日）9:50～18:45

場 所：大阪大学医学部附属病院 14F 会議室，L階 MRI 検査室

参加者：受講者 16人，更新者 9人，スタッフ：12人

（e-learning 作成のための VTR 収録を行なった）

第6回医療安全セミナー（更新講習会）開催報告

（岡山）期 日：2013年12月14日（土）9:50～18:45

場 所：岡山大学鹿田キャンパス マスカットキューブ 3階，1階 MRI 検査室

参加者：受講者 21人（欠席 6人），更新者 7人，スタッフ：11人

内 容：講義，体験研修，グループ討論

2. 第9回 MR 専門技術者認定試験受験申請者（2013年12月13日締切）

初回書類審査		再受験	学術資格	
合格	審査対象		学術成果	JART 資格
105	10	111	85	30
115			115	
226			73.9%	26.1%
91.3%	8.7%		昨年：52%	

（申請者）

第8回：186人

第7回：167人

第6回：139人

第5回：153人

第4回：185人

（再受験者）

第8回：65人

第7回：82人

第6回：48人

第5回：75人

第4回：86人

所属団体(申請者 226名)			
JMRM	JSRT	JART	JAMT
55	171	102	0
24.3%	75.7%	45.1%	0%

複数所属者あり

3. 第9回認定試験作成委員会（2014年1月19日 13:00～17:00 JSRT 東京事務所）

認定試験作成委員長 小倉 明夫（群馬県立県民健康科学大学）：性能評価，アーチファクト

認定試験作成委員 後藤 政実（東京大学医学部附属病院）：撮像原理

内田 幸司（島根大学医学部）：基礎物理

北川 久（東京慈恵会医科大学附属病院）：撮像技術

笠井 治昌（名古屋市立大学医学部附属病院）：読影技術

高橋 光幸（横浜栄共済病院）：臨床応用・臨床技術

清水 徹 (GEヘルスケアジャパン): 保守点検, 精度管理, 安全性
小林 智哉 (筑波メディカルセンター): 解剖
オブザーバ 土井 司 (大阪大学医学部附属病院): 医療安全

4. MR 専門技術者活動 (推奨撮像条件の検討)

今年度は今のところ更新情報の報告はなし。

5. 更新のための研究会の認定 (56 研究会)

- (1) 承認 20130403 秋田県北 MR 画像研究会 鈴木 準 (北秋田市民病院)
20130430 和歌山 MR サロン 木戸 義照 (和歌山ろうさい病院)
20130503 多摩 resonance 研究会 小林 邦典 (杏林大学医学部附属病院)
20130806 山梨 MRI 技術研究会 熊谷 博司 (山梨大学医学部附属病院)

- (2) 問題点 申請者および世話人に MR 専門技術者が不在である場合や代理人 (製薬メーカ) による申請がある。

[議案]

1. 書類審査結果について (2013 年 12 月 24 日に事前審査: 土井)

書類審査不受理候補書類の対応

学術成果に規定以外での発表が含まれているものや、T₁ 値 T₂ 値の測定結果が正しい試験として認められないものが 10 件あった。

第 9 回専門技術者認定試験受験資格者

受験資格者 216 人 初回: 105 人 (48.6%), 再受験: 111 人 (51.4%)

JART の特例資格について

第 10 回の認定試験から昨年度までの資格 (医療安全学, 救急医療学, 医療社会倫理学の 3 科目と臨床技術能力検定 MR 検査) に戻す。

2. 第 9 回認定試験の作成要項

- ・ 解答方法は正答数を問題中に記し、全問正答すれば点を与える。
- ・ 読影技術関連の問題を増加させるが、試験時間の関係もあり 40 問のままとする。

3. 平成 24 年度認定試験準備委員会および試験実行委員会の予定メンバー

理事 土井 司 (運営)	委員 後藤 政実 (東京大学医学部附属病院) LSMR46
川光 秀昭 (会場)	北川 久 (慈恵会医科大学附属病院) LSMR77
小倉 明夫 (試験)	高橋 光幸 (横浜栄共済病院) LSMR33
熊代 正行 (講義)	小林 智哉 (筑波メディカルセンター) LSMR119
菊地 克彦 (受付)	福澤 圭 (虎の門病院) LSMR312
清水 徹 (講師)	林 達也 (虎の門病院) LSMR386
講師 松田 豪 (GEヘルスケア)	岡部 幸司 (慶應義塾大学病院) LSMR199
	布川 嘉信 (慶應義塾大学病院) LSMR389

4. 第 9 回認定試験会場について

東校舎講堂 257 名 受験者 100 人 (受験番号 1 ~ 100)

第 2 校舎 4 階 204 名 受験者 116 人 (受験番号 101 ~ 216)

試験は 2 箇所に分かれて実施、安全管理講習会は東校舎講堂でまとめて行う。

更新講習会の受講者が 42 人を超えると 2 会場で講習会を開催する必要がある。

5. 第9回認定試験のスケジュールの確認

受験番号によって会場を移動しなければならない。

(1) 試験準備委員会：2013年3月8日(土) 17:00 ~ 19:00

(2) 認定試験実行委員会：2013年3月9日(日) 9:00 ~ 18:00

認定試験：東校舎講堂 100名, 第2校舎4階 116名(認定試験受験者：216名)

安全管理講習会：東校舎講堂(+更新講習会：約30名)

採点集計作業：11:00~18:00

(3) 第4回認定者の更新認定作業：10:10~10:30

磁気共鳴(MR)専門技術者更新申請書の確認

磁気共鳴専門技術者と上級磁気共鳴専門技術者の更新のための個人票の確認

6. MR医療安全セミナーについて

(1) 第5回MR医療安全セミナーを収録したVTRについて

7項目(各35分以内)の講演が機構のHPから閲覧できるようになった。

公開(閲覧者)を限定しない(フルオープンとする)。

それに関連して操作者や他の医療従事者、医療従事者以外、被検者向けの医療安全VTRを作成しJIRAを通じて販売することを企画している。

(3) 第7回MR医療安全セミナー

開催時期：2014年12月頃 開催場所：日本医科大学付属病院を予定

広報：機構を構成する会員外からも参加可能なように広報を努める。

(4) 他組織や地方からの開催後援依頼

開催条件：主催は機構とし受講希望者がすべて受講できるようにする。

受講費従来と同額(3000円)とし、講師費の経費は機構が負担する。

受講証は従来とおり機構の事務所から発行する。

その年度の事業計画として入れて開催する。

7. 研究班の審査

テーマ(A) 肝臓領域の三次元T1強調撮像法の比較

申請者：山村憲一郎(LSMR169), 他9名 大阪医科大学

比較装置：13機種

テーマ(B) 頭部領域の動きに強い撮像法の比較

申請者1：五月女康作(LSMR123), 他4名 筑波大学サバニクス研究部 比較装置：5台

申請者2：尾崎佳弘(LSMR443), 他3名 明和病院

比較装置：2台

申請者1を選考するが、申請者2の装置が申請者1に含まれていないので、申請者2の代表者の申請者1と共同で研究できないかを双方の申請者に打診する。

8. 認定研究会の審査

栃木MRI技術研究会の申請に対して「承認」する

9. NPO法人の理事の改選と総会について

MR医学会の次期会長が9月の学術大会で決定するので、本認定機構の理事長の交代は2015年6月に延期する。総会は、2014年6月にJSRT東京事務所で予定する。

以上